

製造

水

物流

火

開発デザイン

NEXT STAGE 月

鉄道路線用レール研磨装置

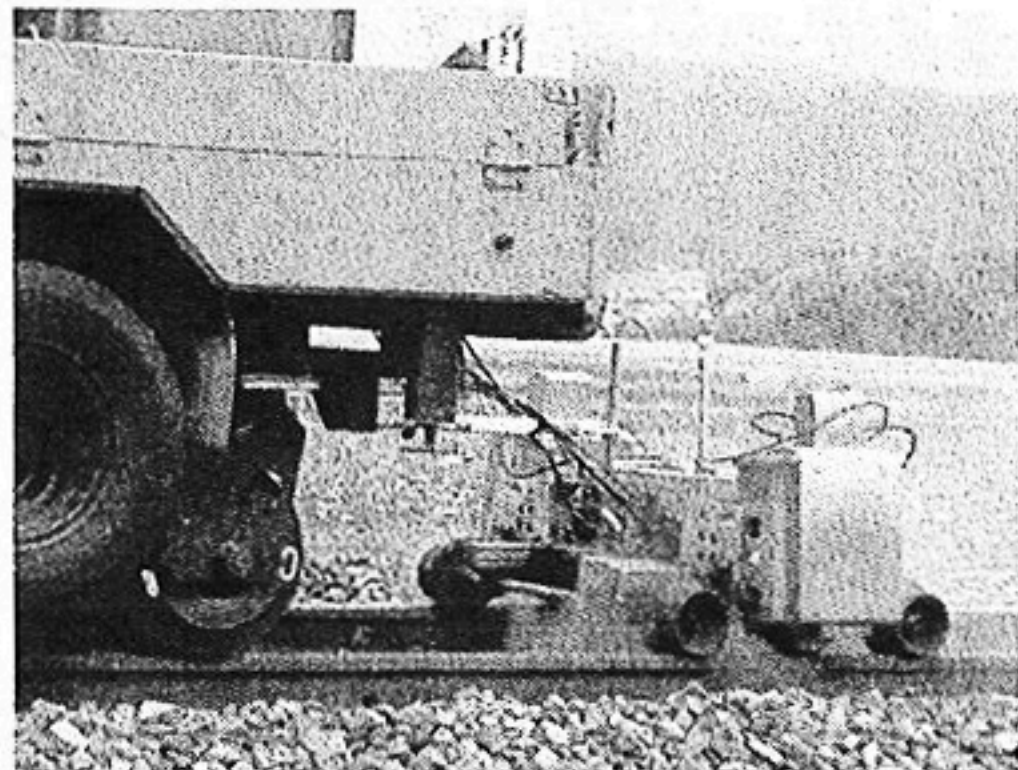
新分野に

売って“出る”

「14年夏に集中豪雨による土砂災害で運休したJR三江線、山口線、福知山線などの復旧工事で使用された。全国には運休状態のローカル線がいくつもある。復旧作業現場に大きな需要がある。」

「開発のきっかけは。『もともとは先代の社長が始めた研究開発案件。神戸市立高専の協力を受けて実際の線路でテストしたりポートがJR西日本の目にとまった。資金・設備面で援助を受け、当社の子会社アグラー」

「製品の特徴は。『従来は大型の車両たり過ぎる危険性がある」



小型で調整が利きやすいレール研磨装置。JR西をはじめとして需要は増加中

「海外でレンタル機の受注があった。ただ想定よりも過酷な現場で使用され、コードの接続部分などに粉塵が詰まってしまった。その後は多少の悪天候でも正常稼働できるように改良した」

「海外であっても使用方法を間違えないように、ユニバーサルデザインを追求していく。また商品価値を上げるためには、産業用であっても外観の美しさも大切だ」

スリーエフ技研社長
札谷 全啓氏

大幅小型化、復旧作業で活躍